

令和元年度内部モニタリング結果を受けての
令和2年度における対応について

豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会における令和元年度の内部モニタリング評価結果を受け、令和2年度に行うこととしていた各対応について、下記のとおり実施いたしましたので、報告いたします。

リサイクルプラザ			
	令和2年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果(効果)
資源化について	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック製容器包装に混入する充電式電池を内蔵する小型家電製品が増え、搬出先の火災事例が増加している。引き続き両市との搬入物検査を実施し、不適正品目の混入低減に向けた啓発を行うとともに、資源化率の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、密にならないよう作業人員の減や検査量の縮分等の工夫を行いながら、両市(豊中市・伊丹市)と協働のもと、プラスチック製容器包装と不燃ごみの搬入物検査を実施し、内容物の組成分析や適合率等の調査を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 両市と協働のもと、プラスチック製容器包装(3回)と不燃ごみ(3回)の計6回の搬入物検査を実施したが、コロナ禍やリサイクルプラザの修復工事等と重なり、予定していた検査回数は実施できなかった。
事故・故障について	<ul style="list-style-type: none"> 手選別業務における労働災害ゼロを継続するため、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底を引き続き指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 針刺し事故等については、手袋の材質改善や二重に手袋をする対策を行っている。また、充電式電池等の発火による目の負傷防止の観点から、防塵グラスを着用する等の対策を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> その他、コロナ禍の対策として、少人数のグループ単位に編成し、他のグループ作業者との接触を抑え感染拡大防止に努めている。引き続き、受託者に対して保護具の検証や作業手順の徹底・指示を行う。
	<ul style="list-style-type: none"> 充電式電池を内蔵する小型家電製品の拠点回収について協働して啓発し、リサイクルプラザの火災検知件数低減を図るとともに、施設の安定稼働を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 両市と連携し、ホームページや広報紙、SNSや動画配信等による市民への情報提供に加え、リチウムイオン電池やそれらを内蔵する小型家電の適正な排出方法の市民啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災検知件数は増加傾向にあるため、引き続き、リサイクルプラザの火災検知件数の低減に繋がることが期待される使用済小型家電回収ボックスの回収量増加に向け、両市と協働して市民啓発を進める。

リサイクルプラザ			
	令和2年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
環境学習・啓発について	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の見学日程が例年から変更になったため、他のイベント開催スケジュールを調整するなど、リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューを企画・実施することにより、来場者の増員を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度はコロナ禍のため、施設紹介や見学内容の詳細DVDを作成・配布し、小学校で授業に活用していただく方法で学びの機会を提供した。 その他、9月にオープンしたクリーンランドひろばにて各種イベントを開催し、来場者の増員を図り、ごみ減量の推進及び分別徹底の周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で社会科見学に来られない小学校を対象に施設紹介DVD等を配布した結果、多くの小学校より感謝の言葉をいただいた。 コロナ禍ではあるが、リサイクルプラザとごみ焼却施設、クリーンランドひろばを合わせた効果的な環境学習メニューを企画・実施することにより、引き続き来場者の増員に努める。
	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント等については感染防止対策を実施のうえ再開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学や展望フロア開放デーなどの人数制限を行い、館内の換気・消毒はもとより、来場の際には、検温・マスクの着用、手指消毒の徹底を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度についても、引き続き新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底に努める。

令和元年度内部モニタリング結果を受けての
令和2年度における対応について

豊中市伊丹市クリーンランド内部評価委員会における令和元年度の内部モニタリング評価結果を受け、令和2年度に行うこととしていた各対応について、下記のとおり実施いたしましたので、報告いたします。

ごみ焼却施設			
	令和2年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果(効果)
ごみ焼却施設について	<ul style="list-style-type: none"> 焼却量については、概ね計画どおり焼却できており、引き続き安定的な運転管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響でごみ質の変化やごみの搬入量の減少があったが、運転操作による設定変更や、焼却計画の見直しにより、安定的な運転管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 焼却量については、コロナ禍の影響で年度途中に運転計画の変更を行ったが、概ね変更した計画どおりに焼却できた。
	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に可燃ごみの堆積量が少ないときに堆積量の誤差を修正し、以後の運転計画に反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月のごみの堆積量が少ないときに堆積量の誤差の修正を行い、5月以降の運転計画に反映させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの実堆積量が計算上での堆積量より少なかったため計算値を実堆積量に合わせた。このことで、5月以降のごみピットの堆積量が正確に把握できるようになり、運転計画に反映することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 両市と協働して、より一層ごみ減量に向けた市民啓発を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 両市との協働による搬入物検査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 搬入物検査の結果を基に、排出元に適正処理と排出量削減の啓発を実施した。
環境について	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス・排水の全ての項目において、引続き年間を通して基準値を満たせるよう測定値の推移を確認し、適正な運転管理・運転に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス、排水の各測定値については、項目ごとのデータ確認と推移確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 排ガス、排水のすべての項目において基準値を満たす結果となり、大きな変化もなく推移していた。

ごみ焼却施設			
	令和2年度における対応	具体的取り組み内容	取り組み結果（効果）
事故・故障について	<ul style="list-style-type: none"> この間発生した労働災害の対策等の再確認を行い、類似災害を含めた再発防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各作業前にはミーティングを行い、作業者全員で安全確認を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害は年度内に1件発生した。引き続き作業前ミーティング実施するとともに、作業マニュアルの点検と見直しを定期的に行い、労働災害ゼロをめざす。
	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検や修繕などからなるデータを基に各設備機器の予防保全に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常点検や修繕などからなるデータを基に、各機器の保守点検整備や定期補修工事を行い、機器・設備等の性能維持を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉が停止に至るような事案はなかった。
資源化について	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、年間の運転計画をより安定的、効率的な施設稼働ができるよう調整を行い、高効率で安定した発電量も確保できるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響でゴミ質の変化やゴミの搬入量の減少があったが、運転操作による設定変更や、運転計画の見直し等により、焼却量だけでなく、発電量も考慮した運転管理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去にないゴミ質の大きな変化やゴミの搬入量の減少があったが、過去のデータを基にした、運転操作や運転計画等の変更により、安定した発電量を確保することができた。